



ネイチャーセンターだより

2022年1月号

新・いきもの図鑑



オジロワシ（タカ科）

オジロワシは、くちばしの先から尾羽の先までオスは76～90cm、メスは86～98cmあり、翼を広げるとオスは199～225cm、メスは202～228cmにもなります。ユーラシア北部に広く分布しています。日本では、北海道と青森県で繁殖が確認されており、冬にはロシアからも渡来し、全国で見られるようになります。生息環境は、海岸や湖、大きな河川の近くです。主な餌は、魚類と水鳥類で、産卵後のサケや海岸に打ちあがったアザラシなどの死体も食べます。根室では、1年中観察することができますが、特に風蓮湖・温根沼周辺でよく観察され、冬季に行なわれる氷下待網漁のおこぼれを狙って毎年200羽以上が集まります。

【参考文献】白木彩子. 1996. 日本動物大百科第3巻鳥類1. 平凡社. 東京. 白木彩子. 2006. オジロワシ. Bird Research News Vol.3 No.2. 吉岡俊朗・蛭名純一・高橋雅雄・宮彰男・三戸貞夫・関下齊. 2017. 青森県東部におけるオジロワシ *Haliaeetus albicilla* の本州初繁殖例. 日本鳥学会誌 66(2):187-190.

2021年度秋季の風蓮湖・温根沼のオオハクチョウ個体数調査の結果

NEWS

2021年秋季（10月下旬～11月）の風蓮湖・温根沼でのオオハクチョウ個体数調査の結果がまとまりました。例年通り、11月中旬に渡来数のピークを迎え、11月下旬に減っていく推移でした（図1）。4回の調査の中でもっとも多かったのは、11/14の2,027羽（成鳥1,794羽、幼鳥233羽）でした。2,000羽を超えるのは、2017年以来です。今年の秋季の渡来状況は、全体的に渡来が早く（前号11・12月号のNEWSを参照）、渡来数が多い傾向でした。

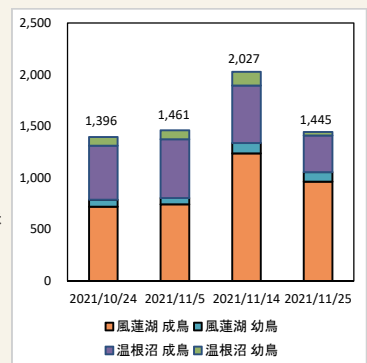


図1. 2021年度秋季オオハクチョウ個体数調査の結果

近年、風蓮湖・温根沼でのオオハクチョウの渡来数は減少傾向です。図2の経年の推移をみると、2007年～2011年までは4,000羽以上のオオハクチョウが渡来していました。減少している原因は分かっていませんが、専門家の中では、採食地の変化、渡りコースの変化など

とされています。今後もネイチャーセンターでは、風蓮湖・温根沼でのオオハクチョウの動向を探っていきます。

【参考文献】環境省自然環境局生物多様センター. 2020. モニタリングサイト1000ガンカモ類調査2004～2017年度とりまとめ報告書. 山梨.

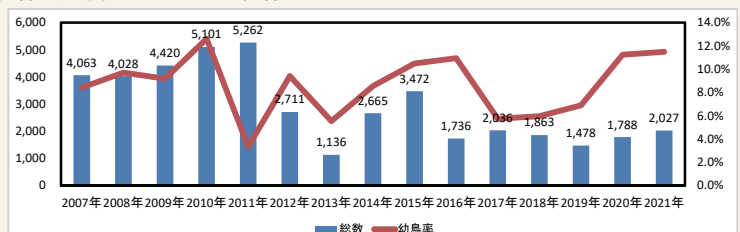
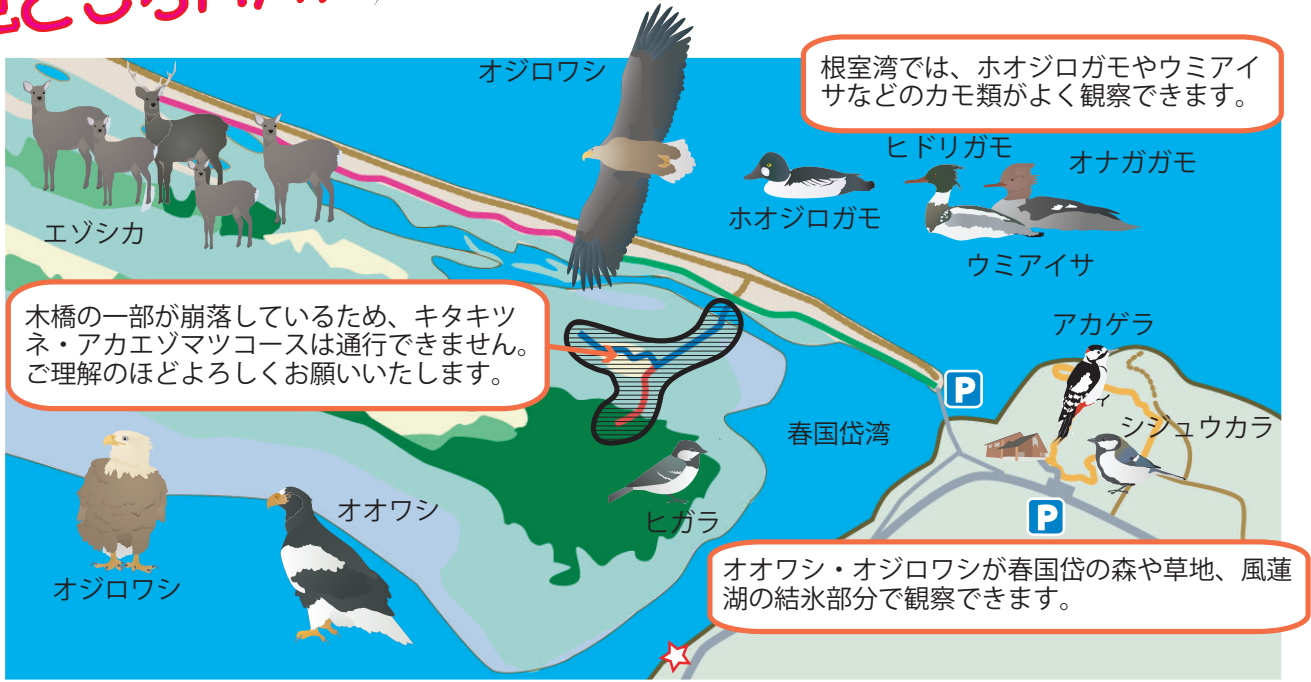


図2. 2007年～2021年の秋季オオハクチョウ個体数調査の最大記録個体数の推移

見どころMAP



根室湾では、ホオジロガモやウミアイサなどのカモ類がよく観察できます。

木橋の一部が崩落しているため、キタキツネ・アカエゾマツコースは通行できません。ご理解のほどよろしくお願いたします。

オオワシ・オジロワシが春国岱の森や草地、風蓮湖の結氷部分で観察できます。

- 観察路(ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路(ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路(キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路(アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路(小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路(春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ☆ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

<キタキツネ・アカエゾマツコースの補修の予定は、分かりしだいネイチャーセンターだよりやホームページ、Facebookでお知らせします。>
 <東梅ハイドからは、対岸の春国岱の森林の鳥や周囲の草原の鳥が観察できます。>

1月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない

オジロワシ	○	上空で飛翔する様子や風蓮湖の結氷部分、春国岱の立木や海岸で休む様子がよく観察できる。氷下待網漁が始まると、おこぼれを狙って周囲に集まる。
オオワシ	○	
オオハクチョウ	○	根室では、ほとんどが南へ渡っていくが、少数は、風蓮湖内の凍っていない水面の周りで見られる。
カモ類	◎	ホオジロガモ・ウミアイサが風蓮湖や海上で観察できる。沖では、クロガモの群れやビロードキンクロ・コオリガモが見られることもある。
カモメ類	◎	オオセグロカモメ・シロカモメが風蓮湖や海上でよく見られ、カモメ・ワシカモメが見られることもある。
春国岱	野鳥(森)	運が良いと、クマゲラの鳴き声が聞けたり、森の上を飛ぶ姿が見られる。
	けもの	エゾシカ、キタキツネが見られる。
自然学習林	野鳥	ハシトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)が見られる。時々、シマエナガやキクイタダキを見ることがある。
	けもの	エゾシカ、キタキツネが見られる。稀にエゾリスが見られることもある。エゾモモンガの食痕が観察路に落ちている。

オオバンとコクガンが見られました

オオバン

11月に以下の4回、記録されました。場所はいずれも、例年同様、ネイチャーセンターの北側にある前浜湿地の一番西端の淡水池です（通称「四の池」）。

- ・11月9日 3羽+。時々潜水していた
- ・11月18日 1羽
- ・11月21日 1羽
- ・11月22日 1羽が泳ぎながら採食

オオバンは、近年記録が増えていきます。2012年～2017年には春国岱周辺ではほとんど記録がなく、2018年以降、10月～11月に前浜湿地で記録されています。



写真：オオバン
2018年10月27日四の池で撮影

コクガン

11月28日に開いた行事「小鳥の小道バードウォッチング」の際に、春国岱湾にいるオオハクチョウの群れのそばで泳いでいる成鳥1羽をレンジャーの古南が見つめました。その後、11月29日・12月4日、6日にも、浅瀬でオオハクチョウといっしょに、海草のコアマモを食べている姿が観察できました。

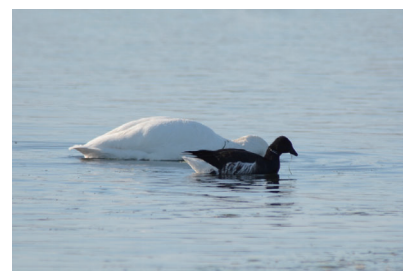
12月4日には、採食中にオジロワシ成鳥1羽に襲われましたが、逃げのびたところも目撃しました（稲葉一将）。

コクガンは野付半島に秋、大集結することが知られていますが、ネイチャーセンターから見られることは近年は少なく、根室湾の海面を泳いでいるのが年に1回くらい、見られるかどうか、という程度です。

道の駅スワン44ねむろのある、白鳥台の北側の風蓮湖の水面では時々小群が見られます。今年は11月25日に5羽、12月5日4羽を観察しました。



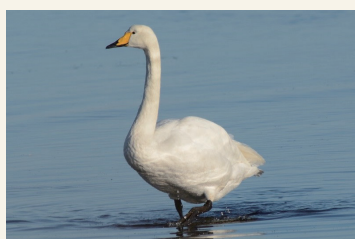
写真：コクガン
2021年11月29日春国岱で撮影



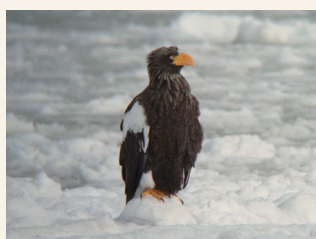
写真：コクガン
2021年12月6日春国岱で撮影

春国岱クイズ

11月の下旬のこと。春国岱では、オオハクチョウ、オオワシ、ダイサギと、名まえに「大」（おお、だい）がつく鳥が勢ぞろいしていました。さて、この3種類のうち、体重が一番重い種類はどれでしょうか？



① オオハクチョウ



② オオワシ



③ ダイサギ

イベント情報

◆野鳥図鑑画家、谷口高司さんの作品展

「朝日に一番近い街 根室の鳥展 (冬)」1 / 15(土) ~ 2 / 13(日) 春国岱ネイチャーセンター 2階

「ねむろの野鳥ミニ図鑑」やロングセラー図鑑「山野の鳥」「水辺の鳥」など、多くの著作のある谷口高司さんの原画を展示します。

◆ねむろバードランドフェスティバル (NBLF)2022

主催：根室市・根室市観光協会 ・各行事の申込み方法：申込用紙を NBLF2022HP (→) からダウンロードして
根室市観光協会へ メール：birdinfo@nemuro-kankou.com / FAX：0153-24-7811



講演会 1 / 28(土) 午後6:00 ~ 7:30 <申込み不要>

会場：根室市総合文化会館 多目的ホール 講師：福田佳弘さん (知床海鳥研究会) 内容：知床ねむろ海域の海鳥について

観察会 <定員20名/参加費大人500円・中学生以下無料> 申込みメ切1 / 7 必着

①風蓮湖ワシワシ観察会 1 / 29(土)・30(日) 午前10時 ~ 11時 集合場所：道の駅「スワン44 ねむろ」

②スノーシューで小さな森を歩こう 1 / 29(土) 午前11:30 ~ 12:30・1 / 30(日) 午後1:30 ~ 2:30

集合場所：春国岱ネイチャーセンター

谷口高司さんの鳥絵塾 <定員15名/参加費500円> 会場：春国岱ネイチャーセンター 申込みメ切：1 / 25(火) 必着

【高校生以上向き】①1 / 29(土) 午前10:15 ~ 11:15[画題：コクガン] ④1 / 30 午前11:30 ~ 12:30[画題：シマエナガ]

【小学3年生~中学生向き】②1 / 29 午後2:15 ~ 3:15[画題：ベニヒワ] ③1 / 30 午前10:15 ~ 11:15[画題：シマエナガ]

おまかせガイドツアー 1 / 28 ~ 30・2 / 5 ~ 6 <全16コース> 詳しい内容は NBLF2022 の HP で

◆ねむろの野鳥イラストコンテスト メ切：12 / 24 必着

・根室・釧路地域で見られる野鳥を題材にしたイラストを、応募はがきで下記へ

〒087-0027 根室市光和町 2-10 根室市観光協会イラストコンテスト係 詳しい内容は→



募集中!

ボランティア「スंक」

施設ボランティアグループ「スंक」で活動して下さるメンバーを募集しています。「スंक」は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的としています。月に1回の定例会(基本的に最終火曜日)で、自然学習林の生きものを集めたり、樹名板や巣箱のとりつけを行ったり、市民向けイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のある方はネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上

◆年会費(ボランティア保険料含む)：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



クイズのこたえ ①. 4.7 ~ 12.7kg. オオワシは 4.9 ~ 9kg ですので重なりはありますが、オオハクチョウの方がより、重いものがあります。ダイサギは 1.5kg で、一番軽い種類です。
出典：清棲幸保.1976.野鳥の事典.東京堂出版. 中川元(環境省編).2014.オオワシ~レッドデータブック 2014-2 鳥類.

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

HP. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Face Book. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：(開館時間 9:00 ~ 16:30)

1月1・2・3・5・11・12・19・26日 2月2・9・14・16・24・25日

◆団体でご利用の方へ (事前予約制)

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録